

しいたけ乾燥技術講習会(原木乾しいたけ生産参入者講習)

遠野農林センターでは、乾しいたけ原木生産への参入者の確保と、現役生産者との連携作りを目的に、遠野市しいたけ産業推進協と共同で講習を行っています。今回は、第1期5回目として、大出地区の生産施設で、乾燥技術の講習会を開催しました。参加者は4名で、うち2名は後継者であり、いずれも1回目の講習から参加しています。講師はしいたけ生産技術指導地域リーダーの鈴木廣志氏、琴畑熊吉氏のお二人です。このうち琴畑さんからは、水分の多いしいたけ(雨子など)をきれいに乾し上げる技術について指導を受けました。

当日は雨模様で、お逃え向きに雨子が用意できました。乾燥のメカニズムに関する講義のあと、琴畑さんの指導により、乾燥段階に応じてダンパーやバーナー等を操作し、併せて燃焼時間の確認、外観の観察、温度と重量の測定を行いました。開始6.5時間後に最後の操作を行い、一度解散しましたが、一部の参加者は引き続き現地に残り、深夜まで意見を交わしつつ、測定を続けました。15時間後に再集合して、仕上がりの確認を行いました。その結果、天(傘の上面)が明るく、ヒダが立ち、縁が巻き込んだ、きれいな製品が得られました。なお、重量は約8割、傘の径は約1割減少

しました。

参加者からは

- ・ 初期の高温工程が木材乾燥の蒸煮を思わせた。
- ・ 乾燥前の状態からは考えられない出来栄に驚いた。
- ・ この技術を習得すれば、安心して散水できる。

と言った感想が得られました。今後は、流通施設見学等を行う予定です。



しいたけの観察と測定



意見交換と観察